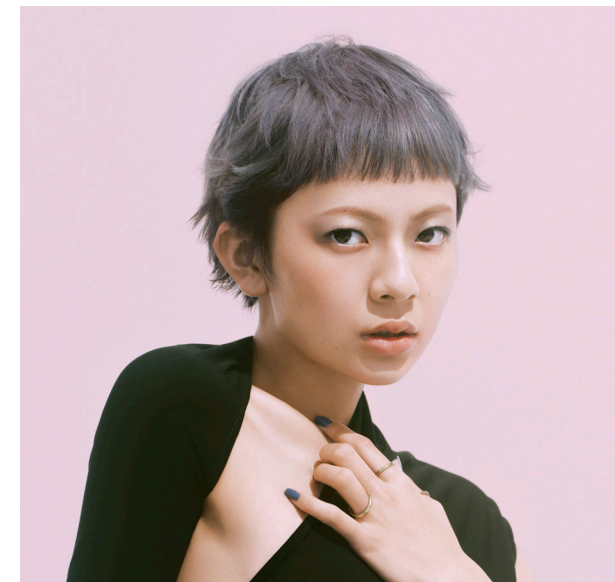


Spring/Summer 2025

BEAUTY CREATORS INSPIRE

SEAMLESS CONTRAST





Spring/Summer 2025

BEAUTY CREATORS INSPIRE
SEAMLESS CONTRAST

2025年春夏は、対極の隔たりを超えて
新たな意味と価値を創造するシーズンとなる。

過去と現在、柔軟さと力強さ、カジュアルとフォーマル……
相反するものが融合することで、想像力と革新性はより研ぎ澄まされる。

かつて世界を隔てていた境界線は曖昧に打ち消され、
違和感なくシームレスな一体感が実現する。

HIDDEN RAINBOW

ペールピンクにローライトを落ませて
はかなくも強さのある美しさを表現

ロマンティックなペールピンクで全体を染め上げつつ、アンダーにはシアンを部分的に加えた、春らしさあふれる柔らかなカラーリング。ぼやけた印象に終わらないよう、前髪の内側にチャコールグレーのローライトを入れて、顔周りを引き締めて。直線的なカットラインとドライなテクスチャーに強さが漂う。





PALE PURPLE PIXIE

ダークトーンの穏やかなコントラストで
毛先の表情を生き生きと見せる

全体をパールパープルで甘めに仕上げつつ、顔周りは前髪やもみあげ部分に、左右非対称になるようローライトをプラス。それによりジェンダーレスなベリーショートにメリハリをつけるだけでなく、フェミニニティを残した丸みのあるカットデザインを生き生きと見せる効果も。ジェルやオイルで毛先を遊ばせて躍動感を持たせて。



Spring/Summer 2025

WOMEN'S FASHION TRENDS

from Runways

夢見心地なドレスアップで、自分らしさをアクティベート

一見ノーマルな日常服が支持を広げた前シーズンを経て、今春夏は再びドレスアップの気分が盛り上がりそうだ。少女のワードローブを彷彿とさせる小花柄、妖精のようにエアリーなシルエット、自由な感性が描く色のコントラスト。

ロマンティックな彩りの中で、スポーツトレンドもエレガント路線にシフト。



LOEWE

1

NOSTALGIC FLOWER

ロマンティックなムードに包まれた今季のランウェイを象徴するのが、淡く優しい色調の小花柄。フローラルプリントを全面にのせたドレスやスカートは、前シーズンよりもさらに軽やかに。風をはらんで歩く少女のような佇まいが、ノスタルジーを呼び覚ます。



DRIES VAN NOTEN

2

INTIMATE LINGERIE

ここ数シーズンの全体の流れとしては、ビッグシルエットからタイトシルエットへと引き続き移行中。そんな中、とびきりビッグな存在感を放ったのが、顔が埋もれるほどのアウター。エコファー、シアリングなど、ボリューミーな素材で華やかに。



CHANEL

3

FAIRY CHIFFON

昨シーズンにクロエが提案したセンシュアルなボーホースタイルが、春夏らしいエアリーな軽さをまとって進化中。ふんわりと揺れるシフォン、ヌーディな総レースなどの素材使いがキーとなる。透明感あふれるヘアメイクとあいまって、妖精のようなルックス。



SAINT LAURENT

4

SQUARE SHOULDER

今季のテーラードジャケットやコートは、メンズ服をそのまま借りて着たようなシルエットに注目。ゆったりオーバーサイズというわけではなく、直線的で大きな肩が主張する。従来のビッグシルエットとは一味違う、クチュールライクな着こなしがポイントに。



MIU MIU

5

URBAN SPORTS

オリンピックの熱冷めやらぬうちに迎えた新シーズンは、レグウォーマー、ジャージ、スコートなどのアイテムが新たに合流。ブルマルックでトレンドをリードしてきたミュウミュウは、ドレッシーなスタイルをベースに組み込んでエレガント路線へ。



KIKO KOSTADINOV

6

COLOR ACTIVITY

夢見心地なパステルカラーから、目が覚めるようなヴィヴィッドカラーのプロッキングまで、明度も彩度もダイナミックに解き放たれた今シーズン。これまでにない新しいカラーを自分のパレットに加え、子どものように自由なマインドで楽しみたい。

Spring/Summer 2025

MEN'S FASHION TRENDS

from Runways

ヘソ出し、フリル、アイウェア。装いの選択肢が一気に拡大

フリルやレースなどの華やかな装飾はまだまだ上級者向けのトレンドだが、メンズとウィメンズのトレンドはどんどん重なる一方だ。

デザイナー交代が相次ぐ昨今、トレンドをリードするのはビッグブランドに限らない。

いつの間にか大きなコミュニティを獲得している個性派ブランドの動向からも目が離せない。



LOUIS VUITTON

1

MOCHA MOUSSE

ビジネススーツとしても通用するエレガントなテーラリング。ミニマルでスリムなブラダ、ダブルプレストでドレッシーなサンローラン、ダンディなカウボーイ風のルイ・ヴィトンまで、決して無難には見せないスタイリングが勝負どころ。



PRADA

2

BARE MIDRIFF

ウィメンズで定着しているヘソ出しルックが、いよいよメンズにも波及。といっても下腹部を大胆に全見せするのではなく、チラリと見えてしまった感のあるブラダのようなスタイリングの妙を狙って、露出のバランスを研究したい。ベルトとの関係性にも注目。



JW ANDERSON

3

BIG FRAME

一点投下でスタイリングのムードを決定づけるインパクト大のアイウェアが続出。フィット感は度外視、JW アンダーソンのようにアンバランスなまでのビッグフレームが旬に。ブランドの数だけ選択肢が広がるといっても過言ではない個性豊かなラインアップ。



GUCCI

4

GEOMETRIC PATTERN

グッチ、ルイ・ヴィトンなどが提案する全身総柄の潔いスタイルに熱視線。ヴェルサーチは異なるオプティカル柄を重ねるスタイリングでさらにツイスト。春の到来とともにあふれ出す色柄が、ファッションの楽しさをストレートかつエネルギッシュに伝える。



VALENTINO

5

FRILLS AND LACES

アレッサンドロ・ミケーレ率いるヴァレンティノ初のショーでは、メゾンの職人技が光るレースや刺繍が、たっぷりのフリルとともにあしらわれた。リボン、ネックレス、ビジュも加えて華美を謳歌する折衷主義は今後ますます市民権を獲得していく予感。



KIDILL

6

PUNK IS ATTITUDE

強い個性を貫くアティテュードが共感を集める時代。例えばキディル、エゴンラボなど、大きなトレンドとは別のところで独自路線を走っているインディペンデントなブランドが、他にないエッジを尖らせ続けた先で、ブームを巻き起こしている。

Spring/Summer 2025

THE BEST HAIR FROM RUNWAYS

今季のヘアは百花繚乱。ルールは「ヘルシーな美しさ」

数シーズン続いたクワイエット・ラグジュアリーが落ち着きを見せ、華やかな装飾性と軽やかな強さが素材やシルエット、

ディテールに花開いた2025年春夏コレクション。それに呼応するヘアは今季、実に多様なスタイルが見られた。

ウェーブ、ストレート、ボブ、スリックバック、ポニーテール……ただし醸し出すムードはひとつ、春夏の日差しに映える、軽やかでクリーンな美しさだ。



SANDY LIANG

1

BOUNCING BOB

ボブスタイルが復活。といってもシャープで重ためのボブではない。柔らかなうねりとエアリーな軽やかさを含んだ新たなボブが、サンディ リアンやプロエンザ スクーラー、ブラバル グルンなどに登場。



JIL SANDER

2

FRINGE EFFECT

今季注目したいのが、さまざまな表情を見せていた「前髪」。エフォートレスなベビーバング、目元スレスレの重めバング、軽やかさを演出するシースルーバング、70年代風ウェーブバング……前髪に正解はない。



BALMAIN

3

SILKY STRAIGHT

丁寧にブロードライしたようなつややかなストレートスタイルは、あくまでもナチュラルな質感が今季のポイントだ。風をはらみ流れるような佇まいが、装飾性のある服やメイクアップとの美しきバランスを生み出す。



3.1 PHILLIP LIM

4

LOOSE WAVES

エフォートレスな躍動感、ナチュラルリティを表現するのにウェーブスタイルは効果的。3.1 フィリップ リムやラルフ ローレン、マイケル コースなど、髪の長さを問わず緩やかに崩したスタイルが多彩に登場。



HERMÈS

5

SLICKED-BACK

今季特有の装飾性の高いディテール、シースルードレス、構築的なシルエットを引き立てていたのが、つややかになでつけられたスリックバックスタイル。分け目の位置やまとめ方次第で、フェミニンにもクールにも。



DIOR

6

MODERN PONYTAIL

ディオールやオフ-ホワイトなどスポーティなスタイルには、ひねりを効かせてエフォートレスにまとめたポニーテールが登場。「アマゾネス」をテーマにしたディオールのように、強さとしなやかさの共存がポイント。

Spring/Summer 2025

THE BEST MAKEUP FROM RUNWAYS

パーソナリティを引き立てる引き算の美学

2025年春夏コレクションのランウェイを飾ったメイクアップは、色鮮やかに個性をデザインするというよりも、ミニマルにひとりひとりのキャラクターを表現するという発想が主流。といっても決して地味で控えめなのではない。ポイントに強さを持たせて、ソフトパワーにあふれたファッションと均衡を保つ。と同時に生まれる抜け感が、フレッシュな生命力を漂わせるカギになる。



LOEWE

1

METALLIC ACCENT

今季さまざまなメゾンで見られたのが、メタリックカラーのポイント使い。ロエベのように大胆にまぶたを飾ったり、ミュウミュウのように目頭のコーナーやキュービッドボウに効かせたり。光のアクセントは不可欠。



DRIES VAN NOTEN

2

POP LASHES

ボリュームたっぷりのまつ毛も、強さのある服とバランスを取るのに有効なアクセント。つけまつ毛でシアトリカルに見せたり、カラマスカラでポップに仕上げたり。彩るのはまぶたかまつ毛、どちらか一方が鉄則。



KHAITE

3

BOLD BROWS

眉で個性を表現するなら、今季は「太いか、細いか」ではなく「いかに大胆か」がポイント。毛量のある人なら毛流れを立ててハンサム眉に、薄眉の人はマルニに登場したディートリヒのようなアーチ眉にトライ。



RABANNE

4

CHROME FINISH

フェイスに見られたメタリックアクセントは指先にもリピート。ラバンヌでは服に用いたメタリック素材に合わせて、ゴールドまたはシルバーのハイライトを目元や鼻筋などに効かせ、指先も同色で光沢仕上げ。



SIMONE ROCHA

5

EFFORTLESS SKIN

現代のライフスタイルとマッチしたシンプルでミニマルな肌作りは、今季も継続。過度なツヤや補正を加えることなく、潤いに満ちたヘルシーグロウな肌を主役に、ほかには何も足さないルックが数多く登場。



ANDREAS KRONTHALER
FOR VIVIENNE WESTWOOD

6

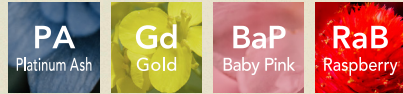
FRESH BLUSH

今季のトレンドキーワードのひとつ「ユーティリティ」をメイクアップに求めるなら「血色メイク」だろう。マルチユースのクリームやリキッドで頬の高い部分から鼻骨、目の下、あご先、唇を彩るだけで完成。

WEIGHTLESS SHAGGY

絶妙な“軽重バランス”を配色と
カットラインの組み合わせで醸し出す

トップとアンダーの2セクションでカラーを塗り分け、フラットな重さを回避。トップにゴールド、フロントの毛先にラズベリー、アンダーにはアッシュを使用。顔周りのカットラインはレイヤーで軽さを出し、エアリーなムードを演出。全体的にライトな印象でありながら、配色のメリハリが絶妙なバランスを生む。





BOLD GIRLY

強さのあるフェミニニティを
緩やかなウェーブと緻密な配色に委ねて

ホワイトパープルで黄みを打ち消してガーリーな印象を抑えつつ、アンダーにピンク、毛先にはパールオレンジでアクセントをプラス。根元に寒色系のアッシュを入れることで、暖色カラーとのコントラストが強さのあるフェミニニティを醸し出す。流れるような緩やかなカールがほどよい優しさと柔らかさを演出。





ELEMENTAL ALLURE

カラーデザインとバランスに
今までにない「新しさ」を見いだす

寒色と暖色を組み合わせ、コントラストのある印象的なカラーデザインに。ブロンドのベースを生かしつつ、オレンジを立たせながらアクセントにシアンを配置。トップと耳周りにはダークブラウンを入れ全体の印象を引き締める。スタイリングは直線的なラインで重さ残しつつ、レイヤーと束感で軽さを出した重軽バランスを演出。

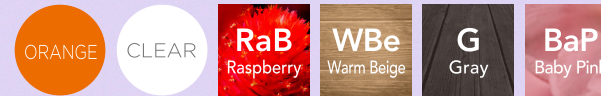




SLEEK CLARITY

シームレスなコントラストで魅せる
洗練のメンズスタイル

マニッシュには振り切らず、かといって中途半端なジェンダーレスで終わらない、シャープでキレイめなスタイル。ウォームベージュをベースにオレンジ、ラズベリー、ダークブラウンを左右非対称にランダムに入れ、シームレスなコントラストが現れるデザイン。つややかなグリース仕上げでクリーン&クールに。



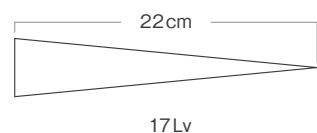


HIDDEN RAINBOW

- STYLE

ロマンティックなパールピンクで全体を染め上げつつ、アンダーにはシアンを部分的に加えた、春らしさあふれる柔らかなカラーリング。ぼやけた印象に終わらないよう、前髪の内側にチャコールグレーのローライトを入れて、顔周りを引き締めて。直線的なカットラインとドライなテクスチャーに強さが漂う。

Beforeの状態

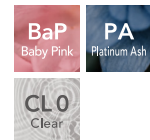


カラー使用プロダクト



PRIMIENSE

プリミエンス
[医薬部外品]

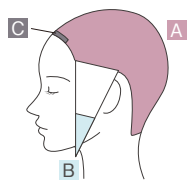


ULTIST by PRIMIENCE
アルティスト バイ プリミエンス
[医薬部外品]



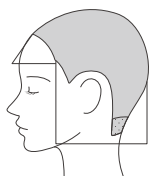
カラーレシビ&プロセス

A	BaP 11	10
	PA 11	1
	CL 0	1
		3%
B	CL/0	10
	CY	1
		3%
C	CG/3	10
		3%



1. 全体の根もとに **A** を塗布して10分放置。
2. 中間、毛先に少ない塗布量で **A** を馴染ませて、5分放置後シャンプー。
3. 前髪と耳上にスライシングを取り、**B** **C** を塗布し、15分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

サブリミック
(1) ワンダーシールド
(2) エアリーフロー シアーオイル

1. (1) を髪全体に塗布し、ハンドブロー。
2. ストレートアイロンを使用し、髪のを整える。
3. (2) を髪全体に塗布し、ツヤを出すように仕上げる。

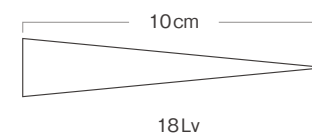


PALE PURPLE PIXIE

- STYLE

全体をパールパープルで甘めに仕上げつつ、顔周りは前髪やもみあげ部分に、左右非対称になるようローライトをプラス。それによりジェンダーレスなベリーショートにメリハリをつけるだけでなく、フェミニニティを残した丸みのあるカットデザインを生き生きと見せる効果も。ジェルやオイルで毛先を遊ばせて躍動感を持たせて。

Beforeの状態



カラー使用プロダクト



ULTIST by PRIMIENCE
アルティスト バイ プリミエンス
[医薬部外品]



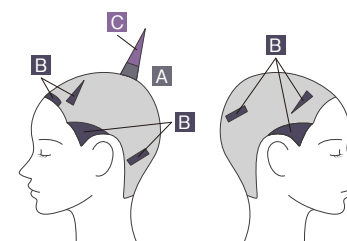
PRIMIENSE

プリミエンス
[医薬部外品]



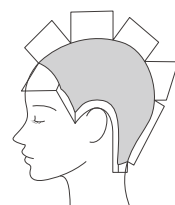
カラーレシビ&プロセス

A	CG/7	10
	CG/11	1
		3%
B	CG/7	10
	CG/5	1
		3%
C	V 11	10
	C/V	1
		3%



1. 全体の根もとに **A** を塗布。
2. ポイントカラーで **B** を塗布。
3. 全体の毛先に **C** を塗布し、15分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

サブリミック
(1) アクアインテンシブ ベルベットオイル

STAGE WORKS

ステージワークス
(2) スーパーハードジェル

1. ハンドブロー後、(1) を髪全体に塗布し髪に動きを出す。
2. ポイントで毛先をつまみながら、(2) を塗布して仕上げる。





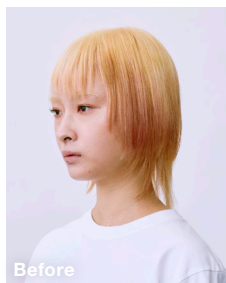
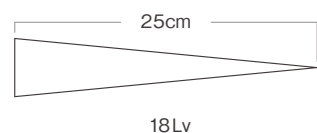
WEIGHTLESS SHAGGY



- STYLE

トップとアンダーの2セクションでカラーを塗り分け、フラットな重さを回避。トップにゴールド、フロントの毛先にラズベリー、アンダーにはアッシュを使用。顔周りのカットラインはレイヤーで軽さを出し、エアリーなムードを演出。全体的にライトな印象でありながら、配色のメリハリが絶妙なバランスを生む。

Beforeの状態

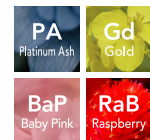


カラー使用プロダクト



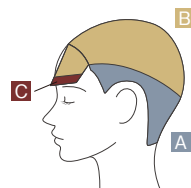
PRIMIENCE

プリミアンス
[医薬部外品]



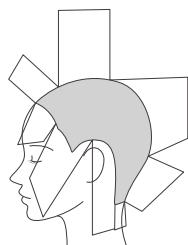
カラーレシビ&プロセス

- A** PA 11 3%
- B** Gd 11 10
BaP 11 1 3%
- C** RaB 7 3%



1. ハチ下の根もとから毛先に **A** を塗布。
2. ハチ上の根もとから毛先に **B** を塗布。
3. 前髪の毛先に **C** を塗布し、10分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

サブリミック

(1) アクアインテンシブ ベルベットオイル

STAGE WORKS

ステージワークス

(2) マルチモーションスプレー

1. (1) を髪全体に塗布し、ハンドブロー。
2. カールアイロンとストレートアイロンでポイントになるカールをつくる。
3. (2) を塗布し、動きを出すように仕上げる。

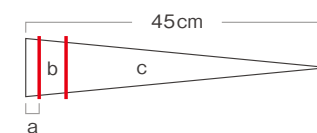


BOLD GIRLY

- STYLE

ホワイトパープルで黄みを打ち消してガーリーな印象を抑えつつ、アンダーにピンク、毛先にはパールオレンジでアクセントをプラス。根元に寒色系のアッシュを入れることで、暖色カラーとのコントラストが強さのあるフェミニニティを醸し出す。流れるような緩やかなカールがほどよい優しさと柔らかさを演出。

Beforeの状態



- a: 5Lv 1cm
- b: 18Lv 2cm
- c: 19Lv 42cm

カラー使用プロダクト



PRIMIENCE

プリミアンス
[医薬部外品]



BLEACH MASTER

ブリーチマスター バイ プリミアンス
[医薬部外品]



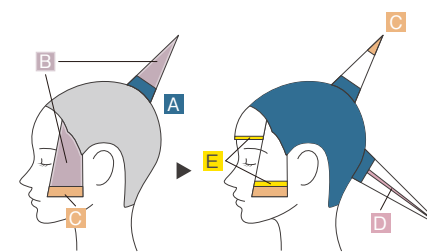
COLORMUSE

カラーミューズ バイ プリミアンス



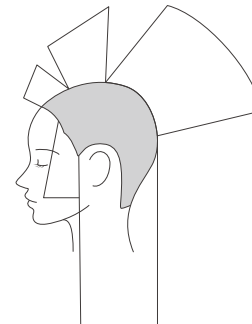
カラーレシビ&プロセス

- A** PA 11 3%
- B** WHITE PURPLE 1 2 6%
- C** CLEAR ORANGE 20 1
- D** WHITE PINK 15 1
- E** YELLOW



1. 全体の根元に **A** を塗布する。
2. 全体の中間・毛先に **B** を塗布、顔周りの毛先にのみ **C** を塗布し、15分後シャンプー。
3. オーバーセクションのハイレイヤーの毛先に **C** を塗布し、アンダーセクションにはスライシングで **D** を塗布する。
4. バングの毛先と、顔周りの中間部分に **E** を塗布、10分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

STAGE WORKS

ステージワークス

(1) パウダーシェイク
(2) ラスタースプレー

1. 全体に (1) を塗布し、ドライをする。
2. 32mmのアイロンでニュアンスカールをつくる。
3. (2) を全体に塗布し、ツヤのある質感をつくる。





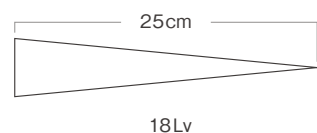
ELEMENTAL ALLURE



- STYLE

寒色と暖色を組み合わせ、コントラストのある印象的なカラーデザインに。ブロードのベースを生かしつつ、オレンジを立たせながらアクセントにシアンを配置。トップと耳周りにはダークブラウンを入れ全体の印象を引き締める。スタイリングは直線的なラインで重さ残しつつ、レイヤーと束感で軽さを出した重軽バランスを演出。

Beforeの状態

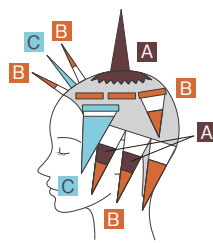


カラー使用プロダクト



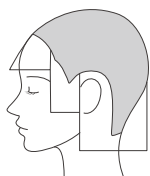
カラーレシビ&プロセス

- A** CB/7 3%
- B** PO/7 1 AP 3%
- C** CY 3%



1. バック、サイドのアンダーセクションにスライシングで **A B** を塗布。
2. ハチ周りにスライシングで **B C** を塗布。
3. 前髪にスライシングで **B C** を塗布。
4. トップセクションをジグザグにブロッキング。**A** を塗布し20分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

サブリミック

- (1) ワンダーシールド
- (2) アクアインテンシブ ベルベットオイル

1. (1) を髪全体に塗布し、ハンドブロー。
2. ストレートアイロンを使用し、髪の毛を整える。
3. (2) を髪全体に塗布し、カールアイロンで動きを出す。



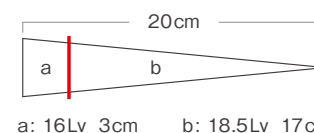
SLEEK CLARITY



- STYLE

マニッシュには振り切らず、かといって中途半端なジェンダーレスで終わらない、シャープでキレイなスタイル。ウォームベージュをベースにオレンジ、ラズベリー、ダークブラウンを左右非対称にランダムに入れ、シームレスなコントラストが現れるデザイン。つややかなグリス仕上げでクリーン&クールに。

Beforeの状態

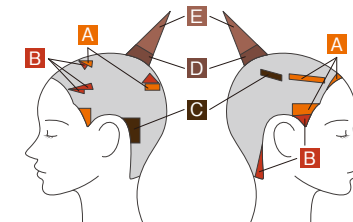


カラー使用プロダクト



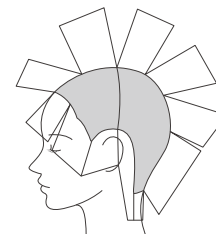
カラーレシビ&プロセス

- A** ORANGE 3 CLEAR 1
- B** RaB 7 3%
- C** WBe 5 3%
- D** WBe 9 20 G 9 4 BaP 9 1 3%
- E** WBe 11 20 G 9 4 BaP 9 1 3%



1. ポイントカラーになる部分をブロッキング後、**A B C** をそれぞれスライシング、セクションングでホイルワークを行う。
2. 全体の根元に **D** を塗布する。
3. 全体の毛先に **E** を塗布し、20分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

STAGE WORKS

ステージワークス

- (1) ツールエフェクター (シャイン)

1. (1) を髪全体に塗布し、コームでシェーブしながら毛流れを整える。





<https://www.shiseido-professional.com/>



Official Instagram Account
@shiseidopro_jpn

▶▶▶ Click



Official Instagram Account
@shiseidopro.primience

▶▶▶ Click



Official YouTube Account
@shiseidoprofessionaljapan4860

▶▶▶ Click



Official LINE Account

▶▶▶ Click